

## 県立上尾南高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

課程	全日制	学科	普通科			R5.5.1 生徒数	(男) 384 (女) 305	計 6 8 9	
アクセス	上尾駅西口 ●市内循環バス「ぐるっとくん」(大谷循環) 乗車9分 → 上尾南高前バス停下車 徒歩3分								
<目指す学校像>									
自分らしく未来に生きる力を育てる 一人一人が輝く学校									
<教育課程等> ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年すべてのクラスが少人数学級編成。数学・英語の一部の科目は習熟度別少人数授業を実施。</li> <li>・ 「朝活」を通して、自主学習の習慣を身につけ、学習を自己管理できる力を身につけます。</li> </ul> </li> <li>○ <b>生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリア探究活動により、主体的に進路を切り拓きます。</li> <li>・ 系統的組織的進路指導により進路実現をサポートします。</li> </ul> </li> <li>○ <b>自信と誇りを育てる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちの良い挨拶や身だしなみを大切にしながらソーシャルスキルを育てます。</li> <li>・ 部活動、生徒会活動、学校行事を通して自分の役割や居場所を実感し、自己有用感を高めます。</li> </ul> </li> <li>○ <b>教職員が責任と誇りをもち、保護者、地域と共に学校の魅力化を進める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動を通じた中高連携「フレンドシップ in あげなん」を実施します。</li> <li>・ 地域や社会と連携・協働した学びを充実させます。</li> </ul> </li> </ul>									
<本校が求める生徒> ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 上尾南高校で学びたい生徒</li> <li>◇ 自分を成長させる意欲があり、目標に向かって努力できる生徒</li> <li>◇ 学習だけでなく、部活動や生徒会、地域の活動等に積極的にチャレンジする生徒</li> <li>◇ コミュニケーションを大切にする生徒</li> </ul>									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2学年時の修学旅行は、3泊4日で11月に実施、平和学習と体験活動を重視し学年毎に選定。</li> <li>・ 体育祭（6月）は、学年縦割りの7色対抗戦。応援合戦、やぐら作りは本校の体育祭の名物。</li> <li>・ 文化祭（9月）は、毎年好評で一般公開には1,000人を超える来場者あり。</li> <li>・ 芸術鑑賞会（10月）、マラソン大会（11月）、予餞会（2月）、球技大会（3月）を実施。</li> </ul>									
<部活動>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子ソフトテニス部関東大会・全国大会出場（令和4年度）</li> <li>・ ダンス部埼玉県学校総合体育大会特別賞（令和4年度）</li> <li>・ 男子バスケットボール部関東大会埼玉県予選ベスト16（令和4年度）</li> <li>・ サッカー一部埼玉県選手権大会県ベスト30（令和4年度）</li> <li>・ クライミング同好会女子個人県レギュラー1・2・3位（令和4年度）</li> <li>・ 陸上競技部、女子ソフトテニス部、バドミントン部、ハンドボール部、水泳部は県大会出場常連校</li> <li>・ 音楽部、吹奏楽部、箏曲部、演劇部、書道部、美術部、将棋同好会等、文化部も県大会、コンクール入選</li> <li>・ 運動部16、文化部9、同好会5の団体が活発に活動している。（県大会以上出場団体多数）</li> </ul>									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年で三者面談実施</li> <li>○ 特別支援学校との交流会実施</li> <li>○ 地元中学校との授業交流会実施</li> <li>○ 市内小学校とのスポーツ交流会実施</li> <li>○ 地域施設への訪問、ボランティア演奏</li> <li>○ 近隣住民の協力により収穫体験活動実施</li> <li>○ 中新井自治会と連携し、夏祭り、敬老会、新年会等の参加と運営協力</li> <li>○ 部活動を通じた中高連携「フレンドシップ in あげなん」の実施。</li> </ul>									
進 路	R5.3 卒業生	四大	81人	短大	18人	専門	89人	就職	36人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定校推薦枠は、四年制大学約350人、短期大学約120人、専門学校約440人。</li> <li>○ 主な進学先、東洋大学、大東文化大学、帝京大学、拓殖大学、国土館大学、立正大学、上尾中央看護専門学校、さいたま市立高等看護学院、大原簿記情報ビジネス専門学校、埼玉県立中央高等技術専門学校、東京IT会計法律専門学校、早稲田速記医療福祉専門学校等。</li> <li>○ 主な就職先、埼玉県警、上尾消防署、陸上自衛隊、航空自衛隊、上尾中央総合病院、シード、ベルーナ、埼玉トヨタ自動車、ヤオコー、トーハンロジテックス、ヤマト運輸等。</li> </ul>							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針  
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）  
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）  
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



自信と誇りを育てる

一人一人が輝く南高

自分らしく未来に生きる力を育てます

グラデュエーションポリシー

（育成を目指す資質・能力）

- 自ら学び行動できる生徒
- 豊かな心と人間性をそなえた生徒
- 他者と協働できる生徒
- 地域社会や世界の未来に貢献できる生徒



3年間の成長

1st 南高生の自覚

自分を知る

- ・自己の適性を知る活動
- ・学習習慣の確立（朝活）
- ・仲間づくり（校外体験活動）
- ・部活動加入の奨励

2nd 南高生の自信

自分の可能性を広げる

- ・キャリア探究活動
- ・各種資格取得
- ・修学旅行（体験活動・探究活動）
- ・インターンシップ



3rd 南高生の誇り

自信を誇りにつなげる

- ・希望する進路の実現
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・探究発表会（プレゼンテーション）

自信と誇りを育てる

学 校 生 活

落ち着いた学習環境 気持ちの良い挨拶は地域NO.1！



アンビシャスアワー

『総合的な探究の時間』を中心に、知識を横断的・総合的に活用して学びます



絆を深める学校行事

自分の居場所や役割を実感し、達成感を味わい、自己有用感を高めます



豊かな心を育てる体験活動

パラドリームアスリートによる体験型講演会など多彩な体験活動の実施



進路実現につながる生徒指導

自律を促し ソーシャルスキルを育てます

確かな学力を身につける

朝 活

- ◆朝 15 分間の主体的な学習活動。学習習慣や学習を自己管理する力を身につけます

習熟度別少人数授業

- ◆数学と英語の一部の科目は習熟度別少人数授業を実施。自分にあったクラスで学べます

全学年全クラス 少人数学級編制 34人

生徒の主体性を引き出す授業

- ◆アクティブラーニングの推進
- ◆ICTの効果的な活用
- ◆BYOD回線を活用した一人一台端末

地域や社会と連携・協働した学び

- ◆地域の方を講師とした地域での学び
- ◆「越境×探究！未来共創プロジェクト」の活用（企業から提供された教育プログラムの活用）



主体的な進路実現

キャリア探究活動

- ◆主体的に進路を切り拓く活動 実社会と自分のあり方・生き方を関連づけて考えます
- ◆キャリア・パスポートの活用 キャリアデザインを見通したり、振り返りながら、自分の変容や成長を評価します

系統的組織的な進路指導

- ◆進路情報の提供
- ◆分野別模擬体験授業
- ◆面接対策

各種検定取得の推進

- ◆英語検定・数学検定
- ◆ビジネス情報処理検定等

目標に向けたステップアップ

- ◆学力向上講座の開講
- ◆模試の実施
- ◆多様な学習スタイルに応える学習スペース



自信と誇りを育てる

活気あふれる部活動

運動部	16
文化部	9
同好会	5

部活動定着率 75.6%



- ◆部活動を通じた中高連携、フレンドシップinあげなんの実施

豊かな心と人間性の育成

- ◆ソーシャルスキルトレーニング
- ◆インクルーシブ教育の推進 多様な人との関わりから、お互いの良さを生かしながら協働する力を育てます
- ◆人権感覚の育成 コミュニケーション力を高め、人権感覚を磨きます
- ◆自分の役割や居場所を実感できる学校行事

